

令和6年度 北区立十条小学校 学校経営方針

【学校教育目標】

未来を創る 時代を生きる あしたを拓く 十条の子

～目指す児童像～

- 自ら考え学び合う子
- ◎ 心豊かで思いやりのある子
- 健康でたくましい子

「地域に支えられ、地域とともに歩む学校」を基本とし、保護者・地域の期待を尊重し、児童が将来、自分の人生を豊かなものにするために、小学校教育で担う役割を明確化し、発達の段階に応じた、意図的で計画的な教育活動を組織的に行う。

児童が、主体的に考え、判断し、協力し合いながら行動する教育活動を、授業や学校行事において設定する。授業においては、問題解決の学習を通して、自らの考えをもち、対話的な学びや少人数グループによる課題解決を多く取り入れ、児童同士が互いの考えを認め合いながら、問題解決ができるようにする。また、地域の学校として、評価・改善を図りながら、地域と協働した教育活動を展開し、地域とともに成長できる学校づくりをする。

児童に、自分自身の力で未来を切り拓いていく資質や能力を育むために、主体的に問題に向き合い、自ら考えたことを交流し、児童同士が互いを尊重しながら、よりよい解決を導き、さらに新しい価値を見出す教育活動を推進する。

目指す学校像

「個性が尊重され、一人一人が輝く学校」

目標達成のための取組目標

かかわりを通して児童の豊かな心を育成するとともに、自尊感情・自己肯定感の醸成を図る

<p>1 創造的に生きる子供の育成</p> <p>ア カリキュラム・マネジメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話を柱として、自他を尊重する児童の育成を図る。 ・探求的・体験的・実践的・問題解決的な活動を意図的に取り入れた教育活動の充実を図る。 <p>イ 持続可能な社会づくりを担う力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック教育レガシーとして位置付け、持続可能な開発目標の理解と推進を図る。 ・外国語活動・外国語科、総合的な学習の時間、特別活動を通して国際理解教育を充実させるとともに、英語スピーチを課題に位置付け、外国語を活用した表現力の育成を図る。 <p>ウ 多様性の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別のない共生社会の実現のための教育活動を推進する。 ・特別支援教育の理解と推進、規範意識の醸成に向けた生活指導の徹底、家庭・地域への啓発を図る。 <p>エ ICT教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語能力、情報活用能力を育むため、ICT機器の効果的な活用を推進する。 ・論理的思考力や科学的思考力を向上させるため、プログラミング教育の充実を図る。 	<p>2 確かな学力の定着</p> <p>ア 分かる授業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に即した分かる授業の展開を通して、学力の定着を図る。 ・問題解決の学習過程を基本とし、主体的・対話的で深い学びによる授業改善を図る。 <p>イ 確実な習得の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能の確実な習得を図るために、放課後や休み時間、家庭学習を活用した反復学習の指導を徹底する。 <p>ウ 学力調査の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区学力調査前に調査事前学習を実施し、調査前と調査後の児童一人一人の変容を捉えるとともに、児童の学ぶ意欲の向上を図る。 <p>エ 言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書力、国語力の向上を図るために、学校図書館や地域の図書館を活用した読み聞かせ等を行う。 <p>オ 思考力・判断力・表現力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を活用した活動を推進し、社会の出来事や仕組みに興味関心をもたせるとともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 	<p>3 豊かな心の育成</p> <p>ア 道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人との関わり方や適切な態度、規範意識の醸成、社会生活上のルールを遵守する態度などを育成するため、人権尊重の精神を基盤として、道徳科を要とした道徳教育の充実を図る。 <p>イ 多種トレーニング要素の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談主任、生活指導主任を中心とした教育相談体制を充実させる。 ・構成的グループエンカウンターを取り入れ、よりよい人間関係を基盤とした学級作りを推進する。 <p>ウ 異学年集団活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他を認める思いやりの心情、自己肯定感、自己・他己対話力、自己調整力の向上、社会性や豊かな人間性の基礎を育成するため、異学年集団による交流活動の充実を図る。 	<p>4 健やかな体の育成</p> <p>ア 体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長縄跳び・短縄跳び・ジャンプ・ラン・リバーシ・バトン投げ・固定施設（鉄棒・ジャンブルジム・うんでい）・腕パワー等の場を設定し、年間を通して、全校で運動に親しむことで、運動の習慣を身に付けさせるとともに運動機能の向上を図る。 ・コーディネーションタイム、北区×東京ヴェルディのプロジェクトへの参加を通して、運動に親しみながら体力の向上や運動習慣の定着を図る。 <p>イ 体育授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた系統的な指導計画を立て、指導の充実を図る。 ・体力調査結果の分析に基づき、授業の一部に重点種目の強化に向けた取組を取り入れ、体育の授業を通じた体力向上を推進する。 <p>ウ 基本的生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食に対する指導、基本的生活習慣の確立に関する指導を実践する。 ・各種学校からの便りを充実させ、家庭への啓発による指導の連携を推進する。 	<p>5 魅力ある教育環境づくり</p> <p>ア 教育に携わる職員（教職員）としての資質・能力の向上と強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員としての自覚をもち、児童一人一人を大切にしながら関わることを通して、温かな雰囲気のある学校づくりを推進する。 ・自己決定、自己肯定感、共感的な人間関係の構築を重視した生活指導の充実を図る。 ・いじめ、不登校など諸課題に対して、組織的な対応を行い、児童への支援を重視した早期対応を図る。 ・安心して職務に専念できる学校風土を醸成し、質の高い教育活動の実現を図る。 <p>イ 安全・安心の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全指導、避難訓練、及び日々の安全点検を徹底し、万が一の事故や災害時において、児童の生命安全を第一に考えた、迅速かつ適切な対応ができる体制を構築する。 ・児童の自他の生命と安全を守る意識の向上と、実践的態度を醸成するため、関係者機関と連携した実践的・体験的な防災訓練等の充実を図る。 <p>ウ 教室・廊下掲示等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通教室及び普通教室前廊下の掲示物について、意図的・計画的な内容のものとし、教室環境の整備を推進する。 	<p>6 学校・家庭・地域の一体的教育</p> <p>ア 基本的生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく元気な挨拶の励行、規則正しい生活と食習慣について繰り返し指導し、基本的生活習慣の確立を推進する。 <p>イ 情報発信の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動を広く公開するとともに、学校ホームページや各種学校からの便り等の充実を図り、学校の教育活動を情報発信する。 <p>ウ 保護者・地域との連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会やPTA活動を活用し、保護者と地域、学校とが協働して児童を育成する体制を整える。 ・地或人材によるゲストティーチャーや地域施設、産業などの教育資源を活用した授業を実施する。 ・自己評価、学校関係者評価などの評価に基づいた改善を繰り返し、教育内容の質的向上を推進する。
--	---	--	--	---	---